

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

|       |   |
|-------|---|
| 事業所番号 | 4161090032                                  |
| 法人名   | 社会福祉法人 佐賀キリスト教事業団                           |
| 事業所名  | グループホーム シオンの園くつろ樹                           |
| 所在地   | 佐賀県佐賀市大和町大字久留間3865番地1<br>(電 話) 0952-51-2101 |

|       |                |       |            |
|-------|----------------|-------|------------|
| 評価機関名 | 社団法人 佐賀県社会福祉士会 |       |            |
| 所在地   | 佐賀市八戸溝一丁目15番3号 |       |            |
| 訪問調査日 | 平成 20年10月23日   | 評価確定日 | 平成 21年1月9日 |

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                 |        |                         |
|-------|-----------------|--------|-------------------------|
| 開設年月日 | 平成 14 年 9 月 9 日 |        |                         |
| ユニット数 | 1 ユニット          | 利用定員数計 | 9 人                     |
| 職員数   | 7 人             | 常勤     | 3 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 4.75 |

### (2) 建物概要

|      |        |       |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 鉄筋 造り  |       |
|      | 1 階建ての | 1 階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |                 |                |         |       |
|---------------------|-----------------|----------------|---------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 16,500/19,500 円 | その他の経費(月額)     | 6,000 円 |       |
| 敷 金                 | 無               |                |         |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 無               | 有りの場合<br>償却の有無 | 無       |       |
| 食材料費                | 朝食              | 200 円          | 昼食      | 400 円 |
|                     | 夕食              | 400 円          | おやつ     | 円     |
|                     | または1日当たり 円      |                |         |       |

### (4) 利用者の概要(平成20年10月1日現在)

|       |         |      |      |    |      |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 9 名     | 男性   | 0 名  | 女性 | 9 名  |
| 要介護1  | 1 名     | 要介護2 | 1 名  |    |      |
| 要介護3  | 4 名     | 要介護4 | 3 名  |    |      |
| 要介護5  | 0 名     | 要支援2 | 0 名  |    |      |
| 年齢    | 平均 88 歳 | 最低   | 79 歳 | 最高 | 98 歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |                     |
|---------|---------------------|
| 協力医療機関名 | 溝口クリニック 鮫島病院 栗林歯科医院 |
|---------|---------------------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

母体法人は、認知症専門の介護老人福祉施設で、ホームは同敷地内にあり、合同での行事も多く自治会、老人会等地域の方々の協力や交流が行われている。周りは田んぼ、みかん畑が広がり、自然に恵まれた環境にある。ホームは平成20年4月にISO(国際標準化機構の認証)を取得し、基本方針として「家庭的な環境の下で利用者様お一人おひとりが個人の個性や持てる力を大切に、自分らしく当たり前の暮らしを続けられるよう努力します」とかかげ、何事も無理強いすることなく、その人のペースを尊重しながら支援を行い、家族のような、安心して楽しい生活が送れるよう心がけて日々の支援に取り組まれている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|           |   |
|-----------|---|
| 重点項目<br>① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)                                |
|           | 改善点は、ミーティング、朝礼でその都度改善に向けた取り組みがなされている。                               |
| 重点項目<br>② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
|           | 職員全員が、サービス評価の意義目的について理解を深め、自己評価に取り組んでいる。                            |
| 重点項目<br>③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)                          |
|           | 2ヶ月に1度運営推進会議を開催され、運営状況の報告、参加者との意見交換等、速やかにサービスの向上に活かす取り組みがなされている。    |
| 重点項目<br>④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)                               |
|           | 「みんなの声箱」を設けたり、法人全体では、オンブズマン委員会を設置、外部者へ意見を表しやすい環境づくりに取り組み、運営へ反映している。 |
| 重点項目<br>⑤ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)  |
|           | 母体法人と共に行事を行い、自治会、老人会等の多くの方々の協力、交流を行っている。                            |

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b>    |    |   |   |      |                                   |
| 1. 理念と共有              |    |   |   |      |                                   |
| 1                     | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 法人の経営理念・処遇モットーを基本に、ホーム独自の基本方針、目標を立てられ、ISOでの各部門の品質目標として、「食事に対する満足度の向上」をあげている。                    |      |                                   |
| 2                     | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 職員は毎朝、朝礼で理念の唱和を行い、品質目標については毎月部会等で評価考察を行っている。  |      |                                   |
| 2. 地域との支えあい           |    |   |   |      |                                   |
| 3                     | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 母体法人と共に、自治会・老人会の方々の協力を得て夏祭りを開催している。ボランティアの訪問等地域の方と交流することに努められている。                               |      |                                   |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |   |   |      |                                   |
| 4                     | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 自己評価については、部会の中で話し合いをし他の職員の意見を取り入れるよう努められている。外部評価での改善点は、部会でその都度、話し合いを行い改善に取り組まれている。              |      |                                   |
| 5                     | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1度運営推進会議を開催し、民生委員、家族、利用者、包括支援センター職員の参加があり、行事・運営状況報告、相談、意見交換、助言など活発に意見交換がなされ、サービス向上に活かされている。 |      |                                   |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|--|------|-----------------------------------|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 法人全体が行政担当職員との情報交換をよくしており、サービスの質の向上に取り組まれている。   |      |                                   |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |  |      |                                   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 「シオンの園通信」の発行、ホーム独自の「くつろ樹通信」を3ヶ月に一度配布し、職員の異動・行事のお知らせや、利用者の日々の表情を捉えた写真を掲載している。家族面会時は個々の生活状況を報告されている。 |      |                                   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 「みんなの声」箱を設け、意見を表しやすい環境づくりがなされている。法人全体では、オンブズマン委員会を通じ外部者へ表せる機会を設け、運営に反映するよう取り組まれている。                |      |                                   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 人事異動は少なく、長く勤めている職員がアドバイスをしたり、わからない事を聞きやすい雰囲気をつくるよう配慮されている。   |      |                                   |
| 5. 人材の育成と支援     |    |  |  |      |                                   |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 初任者には研修実績表(OJT実績表)に基づき、基礎知識・技術の向上に努められ、アンケートで研修したい内容を募る等、積極的に研修を受ける体制づくりがなされている。                   |      |                                   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 老施協グループホーム委員会等の研修に参加し、管理者や職員が情報交換を行い、ネットワークづくりや、見学、研修などを通じてサービス向上の取り組みがなされている。                     |      |                                   |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|--|---|------|----------------------------------|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |   |      |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |                                  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前見学をして、雰囲気等が感じられるよう配慮されている。入所当初は、利用者一人ひとりにあった対応を心がけており、家族へ相談、協力を得て利用者が徐々に馴染めるように工夫されている。 |      |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |                                  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                      | 個々の好み、生活歴に合わせ、現在持っている残存能力を保持する為に一人ひとりに役割を持っていただき、日常生活に取り入れ、職員と利用者で支え合う関係を築くよう努められている。     |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |                                  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用者の希望・要望を把握する事を心がけ、家族も一緒にカンファレンスを行い、確認した要望等を代弁することで利用者本位に検討されるように努められている。                |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |                                  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | カンファレンスには、本人、家族、担当職員、ケアマネージャー、看護師等が参加し、本人や家族の意向や希望を確認し、話し合いを行い、介護計画へ反映するよう努められている。        |      |                                  |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 3ヶ月に一度カンファレンスを行い、職員、家族で個々の評価をした上で介護計画の見直しを行い、状態変化や退院後の状況に応じ現状に合った計画が作成されている。              |      |                                  |

| 外部  | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---|----|---|---|------|-----------------------------------|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b> |    |   |   |      |                                   |
| 17  | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 病院受診を家族の状況に合わせて支援し、買い物、趣味活動へ行く要望は、臨機応変に支援されている。   |      |                                   |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働</b>            |    |   |   |      |                                   |
| 18  | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 希望に応じて、ホームの協力医へ変更したり、入居前のかかりつけ医を受診できるように配慮され、受診時は家族の希望に応じ日頃の状態を書面で情報を伝え、適切な医療が受けられるよう支援されている。 |      |                                   |
| 19  | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合における指針及び、看取りに関する指針が書面で整備されており、家族に対しては、カンファレンス等で話し合いをし、意思確認がなされている。                     |      |                                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>              |    |   |   |      |                                   |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>                        |    |   |   |      |                                   |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                            |    |   |   |      |                                   |
| 20  | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 「個人情報保護に関する基本方針」を玄関に掲示され、入所時に同意書を得ている。職員の言葉かけも排泄時の声かけは大きな声でない等、介護現場でプライバシー保護の取り組みがなされている。     |      |                                   |
| 21  | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 起床・就寝は、自由な対応をし、個々の状態や習慣に合わせて無理強いない柔軟な対応がなされている。生活歴から趣味等を引き出し、日々の生活に活かしてその人らしい生活ができるよう努めている。   |      |                                   |

| 外部                                   | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| <b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                  |
| 22                                   | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | ランチョンマットの準備、テーブル拭き等役割があり、食事は職員も一緒にテーブルを囲み、見守りが必要な方、食事介助が必要な方へは介助をされている。気分転換にテラスで桜の花見をしながら楽しい食事ができるような取り組みがなされている。 |      |                                  |
| 23                                   | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 毎日入浴の準備をおこない、状態や希望に応じ、個別対応で入浴支援をされている。入浴を好まない方は、朝から看護師等より、湿疹予防の声かけ等工夫されている。                                       |      |                                  |
| <b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b> |    |   |   |      |                                  |
| 24                                   | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の一人ひとりの生活歴や残存機能を把握し、洗濯物、食器拭き等を日課に役割を取り入れられている。楽しみごと、気晴らしの支援では、外食をしたり、俳句教室へ通う等の支援をされている。                        |      |                                  |
| 25                                   | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 日常的には、ゴミ捨てに同行したり、散歩や畑へ出かけ収穫をしたり、希望に応じて戸外へ出かけられるよう支援されている。   |      |                                  |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b>               |    |   |   |      |                                  |
| 26                                   | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 玄関には施錠はなく、自由に出入りができる。鍵をかけないケアについて職員一人ひとりが理解しており、見守りにて取り組みがなされている。居室戸口には、利用者の希望に応じ施錠の対応をしている。                      |      |                                  |
| 27                                   | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 年2回、昼、夜想定で消防訓練が行われて地域の方への働きかけも行われている。そのうち1回は消防署立会いで実施している。また、初任者研修時に消火器の取り扱いを実施されている。                             |      |                                  |

| 外部                        | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|--|------|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |  |      |                                   |
| 28                        | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 毎月法人の栄養士によりメニューのチェックが行われている。水分・食事の摂取量は毎日把握し記録されて、気づきや意見などを参考にしながらバランスの取れたメニューを心がけ、利用者のその時の状態や個人に応じた食事形態の工夫がなされている。 |      |                                   |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり   |    |   |  |      |                                   |
| (1)居心地のよい環境づくり            |    |   |  |      |                                   |
| 29                        | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 天井が高く、自然光も充分入り、清潔感があり、明るい環境作りがなされている。季節に応じた花が飾られ、落ち着いた環境で居心地よく過ごせるような工夫がなされている。                                    |      |                                   |
| 30                        | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                    | 居室には、トイレ、ベッドが備えつけられ、昔、使用していたミシン等が置かれ、家族・好みのポスター等が飾られ、居心地良く過ごせるよう工夫がなされている。   |      |                                   |